

平成24年12月1日

日本山岳救助機構（jRO：ジロー）会員の皆様

日本山岳救助機構合同会社

2012年度の事後分担金のご通知とご報告  
および2011年事後分担金の精算についてのお知らせ

I、2012年度事後分担金のご通知：700円

会員期間開始日が属する計算期間の、事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレージ制度の対象額（遭難救助費用補てん金及び臨時費用補てん金、以下カバレージ対象額と略）の総額を会員総数で除したものです。
- ・2012年度の計算期間は2012年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり700円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日（管理期間）が2012年1月1日～12月31日の場合に、2012年の事後分担金のお支払いをお願いいたします（現状規約上、各会員の開始日が2012年に属していない場合でも、本会員開始日（管理期間）が2012年の場合には、2012年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします）。
- ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- ・計算方法についてはP2～3のⅢをご参照ください。

II、2011年カバレージ制度対象事故の確定による相殺（割引）額：▲400円

対象となるのは2012年のjRO会員、かつ2011年事後分担金支払済みの会員の方です（退会者等を除く注ご参照）。

- ・2011年度の事後分担金は昨年700円と算出しましたが、2012年11月9日現在カバレージ対象額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2011年度カバレージ対象額を上回ったため、2011年継続会員の方に▲400円を相殺（割引）させていただきます。

注：2012年にjRO会員で、かつ2011年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- すでに退会済、または2012年はjRO会員でない方  
2012年度事後分担金のご案内および2013年度への継続ご案内がお送りできない場合等
  - 2011年の本会員（団体、家族会員の本会員）がすでに退会している方  
2011年は個人会員で、2012年継続時に個人を退会し、あらたに団体へ加入した場合等
  - 2011年と2012年では、本会員が異なる方  
所属の団体を変更した場合等（可能な場合でも、2011年の事後分担金をお支払いいただいた2011年度の本会員ではなく、2012年度の本会員へ相殺（割引）処理が行われます）
- ・各会員に関しての金額の詳細は2012年度から2013年度への継続のご案内をご参照ください。
  - ・2011年事後分担金の確定額計算についてはP4以降をご参照ください。

対象の方の2012年事後分担金は、相殺後1会員あたり**300円**（700円－400円＝300円）

となります！！

Ⅲ、2012 年度事後分担金 700 円の計算:

月	遭難発生場所	遭 難 概 要	原因	身体 被害	カバレー ジ対象額	未払額 (見込)
1	野沢温泉 スキー場山頂 付近	山スキー中コースを誤り雪崩に遭う。このためビバークする。宿舎に戻らないことから家族がスキー場に通報。遭難者は3名。救助費用請求は地元遭対協とスキー場運営会社から3名に対して行われた。捜索救助活動は2日間。	道迷 い	無し	¥298,824	¥0
1				無し	¥298,823	¥0
1				無し	¥298,823	¥0
1	山梨県御坂 大幡川四十八 滝沢	アイスクライミング練習後のトップロープの回収時、懸垂下降ロープをセットする前に墜落。落下距離約10m。全身、特に頭部を強打し死亡。	転滑 落	死亡	¥77,400	¥0
1	白馬コルチナ スキー場外	山スキー中雪崩に遭い流される。約3時間半後ビーコン信号を発見。その2時間後に発見されるも死亡。	雪崩	死亡	¥309,975	¥0
1	八ヶ岳 赤岳	凍傷となり自力での下山ができなくなった。	凍傷	重症	¥32,915	¥0
2	三重県鈴鹿 藤原岳	単独行、下山せず。2/11 09:50 ころ登頂、御池岳へ向かうと連絡あり。2/12 06:30 夜が明けたので下山との連絡あり。下山の確認が無い為、捜索願いを出す。警察主導による捜索打ち切り後、地元岳連の大規模な捜索が行われ4/29 に発見。無償で捜索活動との山岳雑誌記事もあったが、捜索活動諸費用が発生している見込みあるため計上。	不明	死亡		¥3,300,000
3	北ア 四ツ岳	単独の山スキー中に滑落。警察により救助され病院へ搬送されたが、同日夜死亡が確認された。	転滑 落	死亡		¥500,000
3	北アルプス 西穂岳	単独で帰宅せず遭難が疑われる。6月中旬遺体で発見される。発見時の状況によれば滑落した模様。	転滑 落	死亡	¥141,840	¥0
3	秩父 二子山 中央稜	4 ピッチ目を懸垂下降中にロープがスタック。日没が迫る時間、なおかつヘッドランプを忘れてきたため、登り返しはせずビバークとなる。夜間、体調が悪化したため救助要請。	複数	無し	¥6,350	¥0
4	中央アルプス 駒ヶ岳	木曾駒ヶ岳を宝剣山荘にトラバース中にスリップし、そのまま500mほど滑落。同日、駒ヶ根方面より救助隊が出動し、長野県警ヘリにより救助される。	転滑 落	重傷	¥670,972	¥0
4	北ア 乗鞍岳	山スキー中ルートがわからなくなり警察に救助を要請した。前日4/8も尾根を誤って降りてしまいビバークであった。体力が落ちていたため、ルートがわからなくなった時点で救助要請を行う。遭対協1名@4万×4名出動。	道迷 い	無し	¥191,646	¥0
4	谷川岳 熊穴沢	スキーで熊穴沢を下っている途中クレパスに落ち負傷する。自力での下山は無理と判断し、携帯電話で警察に救助要請。ヘリにより病院に収容される。	転滑 落	病院 収容	¥17,800	¥0
4	北アルプス 槍ヶ岳 水俣乗越下部	東鎌尾根水俣乗越付近より北鎌沢を目指し、雪の斜面を下降しはじめた所でスリップ、滑落して20~30m下の立ち木に頭部を強打し、更に200m程滑落して雪の斜面で停止。県警に救助要請した。搬送後死亡が確認される	転滑 落	死亡	¥263,650	¥0
5	三重県 御在所岳	08:27 登山中突然倒れる。08:29 に119番し他パーティの看護師による心肺蘇生を行う。9時過ぎ地元消防によるAED処置。09:50 三重	病気	死亡	¥111,841	¥0

		県防災ヘリで県医療センターへ搬送したものの、10:32 死亡が確認される。					
7	富士山7合目 鳥居山荘付近	11:00頃5合目発、13:30頃7合目鳥居山荘到着。小屋内で夕食（カレー）をとり17:30頃就寝。20:00ころ気分が悪くなり、トイレ行く途中の山荘玄関前で倒れる。山荘の人に付き添われて佐藤小屋まで下山。その後は救急車で搬送され、山梨赤十字病院にて診療。	病気	軽症	¥20,000	¥0	
7	北ア 北穂高岳 大キレット	滑落。大キレット飛騨竜谷側付近。詳細不明。	転滑 落	死亡		¥1,000,000	
8	北ア 常念岳	下山中に吐き気、けいれんなどで動けなくなる。付近の登山者が救助要請。その日は遭対協救助隊員と一緒にビバーク。翌日つきそわれて下山する。	病気	軽症	¥254,075	¥0	
8	北ア 南岳新道槍平 付近	疲労から転倒し、後頭部を打ち出血。遭対協救助隊員が駆けつけ、県警ヘリにより救助。	転倒	軽傷	¥40,000	¥0	
8	北ア 西穂高岳	西穂山頂付近で転倒、胸を強打する。そのため下山に時間がかかって、暗闇の中で登山道がわからなくなり、西穂山荘に救助を要請。	転倒	軽傷	¥34,560	¥0	
9	北ア 槍ヶ岳 東鎌尾根	鎌尾根のヒュッテ大槍と水俣乗越の中間付近で転落。約30m落下し、左肩を骨折。自力での帰還は困難と判断し、レスキューを要請。悪天候の為、午後3時頃地上での救助となると連絡を受けたが、天候回復し午後1時30分頃、長野県警のヘリで松本の病院に搬送され、応急処置を受けて帰宅。その後自宅にて骨折治療中。	転滑 落	重傷	¥155,054	¥0	
10	中ア 槍尾岳	前日の行動中に胸に痛みがおこり、動けなくなった。救助要請を行い、遭対協救助隊が現場に行き、翌朝ヘリで救助。病院で診察を受ける	体調 不良	病院 収容		¥400,000	
小計 2012/11/9 現在					A	¥3,224,548	¥5,200,000
総額（支払済+未払（見込）額）					B	¥8,424,548	
推計値（11/9 現在未報告案件及び11/9 以降発生案件に対応するため）					C	¥8,250,000	
2012 事後分担金算出の基礎数字（事後分担金計算式の分子）B+C					D	¥16,674,548	
2012 会員総数（11/9 現在のエラー無会員総数）					E	24,199	
2012 事後分担金 $D \div E = ¥689$ （端数切り上げ）					F	¥700	

◎推計値（8,250,000円）の算出について

- ・過去の事例によれば、2009年12月は2件、2008年12月は3件のカバレージ対象となる遭難事故が発生しています。そのうちの1件はほぼ満額のカバレージの支払いとなりました（2011年には発生はありませんでした）。
- ・一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。
- ・jRO会員数は2009年末の会員数約1万名に比べて、2.4倍（約2.4万人）となり、事故件数はそのまま2.4倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- ・遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多いのが現状です。11月上旬において事後分担金を算出する場合、10月の未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- ・推計値はある程度の幅を見込みますが、825万円という数値はjROの規約による最大の支払が起きた場合には2.5名分の金額になり、前期のような過去の経験値を勘案し算出したしました。
- ・2012年のカバレージ制度対象金額が確定されるのは2013年11月を予定しております。算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。

### III、2011 年事後分担金の精算および相殺処理の計算: ▲400 円

・2012 年 11 月現在、2011 年度の案件は下表以外の発生は想定できません。よって確定対象金額を 2011 年の精算対象額といたしました。

月	遭難場所	遭難概要	主原因	身体被害	支払	
2	谷川岳一ノ倉沢鳥帽子沢奥壁正面ダイレクトルンゼ	7ピッチ目をリード、パートナーがフォローしていた状況。本人がリードを終了しビレイポイントを作り、ロープを巻き上げ、セカンドのビレイをロックしたと同時に、リングボルトが2本が破損し、ビレイポイントが崩壊。巻き上げたロープ25m分転落した。	転滑落	病院収容	¥112,012	
3	谷川岳山の沢堅炭尾根Bルンゼ	Bルンゼ下降超 上部で雪崩が発生。200m程流され、かん木に激突。右下腿を2カ所、腰部を骨折。群馬県警のヘリにて沼田の病院に搬送	雪崩	病院収容	¥19,470	
4	北ア 白馬	大雪渓を下降中、小雪渓上部より発生した雪崩に巻き込まれ死亡する。	雪崩	死亡	¥238,100	
4	南八ヶ岳 南部 ツツ頭	下山途中 転倒し 左足首を骨折。救助要請。病院に収容される。	転滑落	重症	¥4,180	
4	鹿島槍ヶ岳 南峰 山頂	30日 天候が急変 15時ころ南峰山頂にて雷に打たれる。同行者は死亡。目が見えなくなり約2.5kmを15時間一晩中さまより小屋に収容される。目の回復をまって下山。	落雷	重症	¥76,080	
7	雲取山	下山中に谷底に滑落	転滑落	死亡	¥41,960	
7	北海道 フラノダケ	山頂より下る際に、左ひざに突然激痛が走り、尻もちをついて動けなくなってしまう。自力の行動が不可能と判断し、救助を要請。公共ヘリで収容され地元の病院で診察。その後は自宅近くの病院にて治療中。半月板をいため、軟骨が神経を刺激したことが激痛の原因とのこと。	ケガ	重症	¥36,637	
7	南会津 三倉山	下山中 木の根に滑って転倒し、右足首を骨折する。天候不良のため、ヘリコプターが飛ばず、ストレッチャーに乗せられ、10時間かけて救助隊によっておろされる。	転倒	重症	¥70,000	
8	白山 北縦走路	避難小屋近くで転倒し、足とわき腹を強打する。翌日、白川郷へ下山中、前日痛めた足とわき腹が、急激に痛みだし、動ける状態ではなくなったので、110番にて 高山警察署へ救助要請を行う。病院収容後熱中症と診断を受ける。	病気	重症	¥21,067	
8	立山 雷鳥沢	木製の橋から小川に転落・頭と腰を強打。意識不明に。付近キャンプ場管理センターに収容後、室堂に常駐の医師が駆けつけ診察。1時間半後に意識は戻る。その後ヒュッテへ自力で移動。翌日頭・腰の痛みが引かないため下山。息子と娘夫婦が車で駆けつけ自宅へ。そのご脳挫傷と診断され、入院となる。	転滑落	重症	¥31,260	
7	南アルプス 鳳凰三山	登山道から 転落により即死 鳳凰滝下流の岩場付近にて発見	転滑落	死亡	¥217,156	
8	北ア 双六岳	黒部五郎へ向かう途中に具合が悪くなりビバーク。翌日黒部五郎小屋に到着するも具合天候ともに悪く、休む。次の日、双六小屋まで行き診療所で診察を受けると高山病の疑い、酸素吸入・点滴を受け、診療所に泊まる。1泊後、遭対協の2名に付き添われつつ自力下山、林道より病院へ搬送し、飛騨市民病院で診察をうけたのち帰宅。	病気	病気	¥278,650	
9	南アルプス 小内川 (転付峠から田代間)	台風による増水の影響で橋が変形し渡れなかつたため、橋の少し下流で渡渉を試みる。パーティーでロープをはり渡渉、その最中に転倒し流され溺死。	転倒	死亡	¥1,000,000	*未払支払予定
9	巻機山 米子沢	9/16-17 の予定で単独入山。やぶがひどく 下山ができず。さらに、虫さされにより目が見えない状況になる。9/18 友人に相談、9/19に救助要請。9/20 救助される。30名ほどが出動 1名4-5万とのこと、	その他	不明	¥1,500,000	*未払支払予定
10	上高地から濁沢 濁沢まで40-60分の場所	休憩後、立ち上がる際に足元の不安定な石にのり、転倒する。頭部を切り、出血、脳しんとうを起こす。両腕の激しいしびれなどのため、同行者が小屋まで行き救助要請する。ヘリで収容。入院後帰宅	転倒	病院収容	¥87,970	
<b>2011 jRO カバレッジ制度 確定対象金額</b>					<b>¥3,734,542</b>	

2011年度事後分担金お支払い状況	振替請求額	振替不能額	差引額	口振率	
1/27~10/27口座振替実績	¥12,213,600	¥461,300	¥11,752,300	96.223%	
ゆうちょへのお支払			¥73,500		口振不能者等による
11/27 口座振替見込	¥471,800	¥17,820	¥453,980	96%	口振不能率4%として算出
<b>合計</b>	<b>¥12,685,400</b>	<b>¥479,120</b>	<b>¥12,206,280</b>		お支払い・事後分担金総額
<b>2011年度 カバレッジ対象額</b>		<b>¥3,734,542</b>			受付済事故2件を除き確定済 上表参照
<b>超過額:A</b>		<b>¥8,545,238</b>			12279780-3734542
<b>事後分担金お支払済人数:B</b>			<b>17,634名</b>		10/27迄の支払実績及び11/27以降予定人数
<b>事後分担金精算額:A/B</b>			<b>¥400</b>		¥484.66の100円未満を切捨て

◎2011 年度 事後分担金

精算額

上のカバレッジ対象額の確定

および口座振替等によるお

支払状況により、2011 年事後

分担金の確定精算額は、**会員**

1名あたり▲400 円の相殺といたしました。事務処理の効率化のため 100 円未満を切捨てました。また、相殺 (割引) 処理はシステム上、対応ができない場合が一部あります (P1 下段注ご参照)。ご了承をお願い申し上げます。

以上